

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役 鈴木 康修

私たちは、資源の循環を通じて未来の価値を創造し続けることに挑戦し、持続可能な社会の実現を目指します

当社は、解体工事・産業廃棄物の収集・運搬、リサイクルを基盤とし、サーキュラーエコノミーを推進する「環全再生」※システムを展開しています。

当社は、資源循環サービスの高付加価値化のための投資、そして従業員へのさらなる分配を通じ、次世代が安心して暮らせる持続可能な地域社会を築いていきます。

※環全再生とは…「完全再生」に循環の“環”をあてた当社の造語です。解体工事から再生資源までの一貫したプロセスを指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

鈴健興業株式会社とVan-doジャパン株式会社は、グループ全体で2034年4月期をめぐに売上高100億円超を目指し、汚染土壌・汚泥処理プラントの設置や静岡県での整備工場・車両販売拠点の新設を通じて事業拡大を図る。既存の解体工事業とのシナジーを最大化し、環境保全への対応と地域経済への貢献を両立させることで、持続可能な成長を実現する。

課題

- ・事業モデルの高付加価値化
- ・既存の事業展開地域外への進出
- ・スカニア（トラック）の販売拡大には整備拠点が不可欠

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

●汚染土壌・汚泥処理プラントの新設による処理能力の拡充

- ✓ 現状のリサイクルプラント（処理・分別ライン）に加え、汚染土壌・汚泥処理プラントを新設。
- ✓ 産廃処理案件と同時に、建物解体時に同時に必要とされる土壌処理も一貫して対応可能に。

●事業エリア拡大に伴う、車両整備・営業拠点の設立

- ✓ トラック輸送距離の拡大が見込まれるため、車両整備拠点を新設。自社車両整備だけでなく、車両販売や他社トラックの整備事業を行うことで、単独で収益化を目指す。

実施体制

- ・2027年4月期中をめぐに汚染土壌・汚泥処理プラントを新設、稼働を目指す。
- ・2026年10月に車両整備拠点を新設。当社のグループ会社である、Van-doジャパン社を主体として、車両整備事業を展開。
- ・土壌処理から、解体・運搬・リサイクル処理まで一体となった、資源循環サービスの一貫提供体制を強化していく。



新設予定の汚泥処理プラント
（山梨県笛吹市）
（イメージ図）

○本社所在地：山梨県笛吹市御坂町下黒駒1602番地8

○事業概要：解体工事・土木工事、産業廃棄物処理・運搬・リサイクル、物流・重機回送、研究開発

○常時使用する従業員：79名（グループ全体・24年4月期）

○現在の売上高：30億円（グループ全体・24年4月期）

○法人番号：8090001006055

○Web：鈴健興業

<https://www.suzuken8888.com>

売上高100億円実現に向けた具体的措置

◆ 資源循環サービスと車両販売・整備事業の一体強化

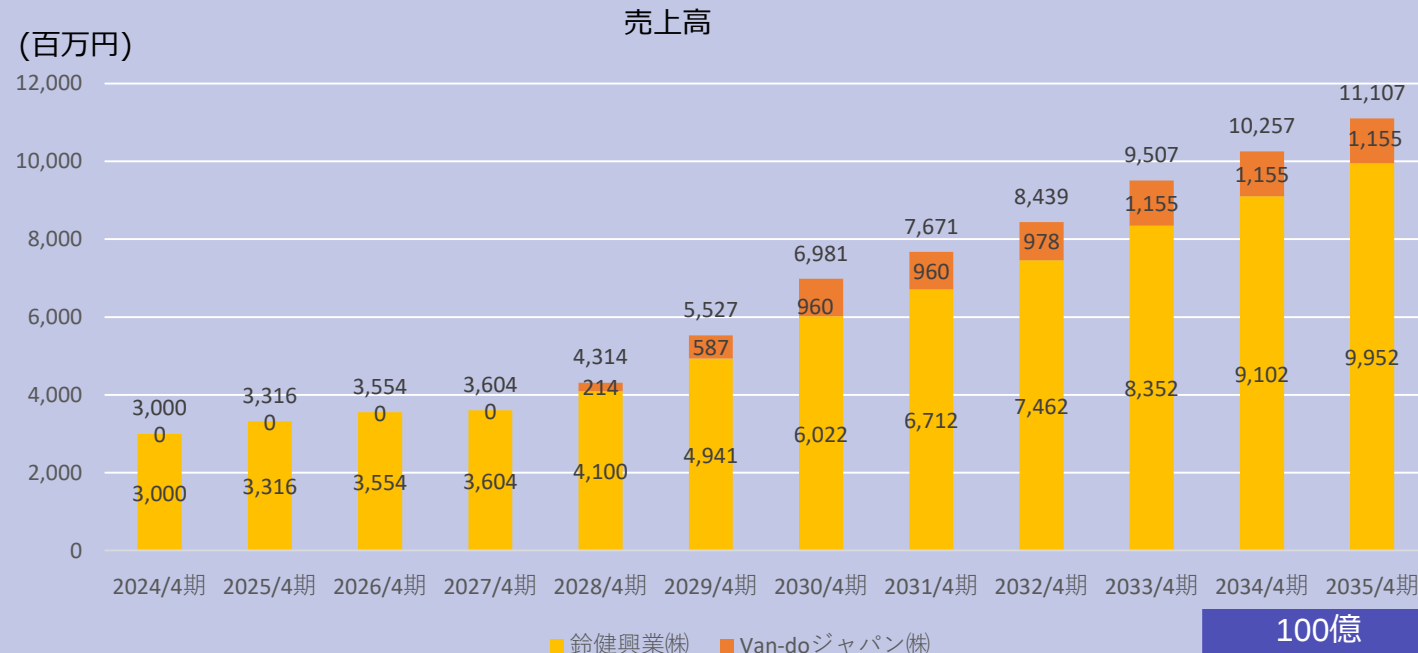
当社は、山梨県の本社に汚染土壌・汚泥処理プラントを新設し、静岡県にトラック販売・整備拠点を新設します。この静岡県の拠点は、当社のグループ会社であるVan-doジャパンが運営します。トラック販売・整備事業に加え、解体工事業の営業拠点としても機能し、既存事業とのシナジーを発揮する重要な役割を担います。

◆ 山梨、静岡エリアを中心に、首都圏に向けて事業エリアを拡大

現状の売上規模30億円から100億円に到達するためには、今後5～6年後を目途に追加の設備投資を行う必要があります。具体的には、首都圏に新たな営業拠点を設置する計画であり、これにより山梨県・静岡県・首都圏の3拠点によるトライアングル体制を構築し、広域的なサービス提供を目指します。

◆ 事業モデルの高付加価値化実現

汚染土壌処理のノウハウを蓄積することで、土壌調査コンサルティングにも事業領域を拡大し、川上から川下まで一貫したサービス体制を構築していきます。この体制により、環境保全への対応力を強化するとともに、顧客ニーズに応える包括的なサービスを提供し、事業の競争力をさらに高めます。



<当社グループ>

鈴健興業株式会社
解体工事業、環境事業、物流事業

Van-doジャパン株式会社
車両販売・整備事業